

## 各学校で工夫されている取り組み例

### 学校のシンボリックな運動を持っている



益田市立都茂小学校では一輪車が校技といえるほどに定着しています。全員が一輪車に乗ることができます。先生も指導方法を熟知し、子どもたちもコツを知っています。ひとつの運動にこだわるからこそ、先生方や子どもたちの間に一体感があり、他の運動や活動への波及効果を生みます。一輪車はこの学校の強みや良さになっているし、地域の文化にもなっているのです。(益田市立都茂小学校)

### 授業が遊びを広げ豊かにする



写真の登り棒で遊ぶ子どもたちを見てください。4種類のそれぞれ違った登り方で登っています。固定遊具遊びは、低学年の定番の教材です。雲梯やジャングルジムで遊び方や技を学ぶ（見る・まねる・工夫するなど）ことが、子どもたちの遊びを豊かにし遊びの種類や遊び方を広げます。体育の学習を大切にしたい体力向上の在り方を探ることが大切です。

(浜田市立石見小学校)

### 学習発表としてのマラソン会が連携の場にも



休み時間や授業の中でのランニングの成果をはかる場として、ロードレース等を取り入れている学校も多くありました。もう一歩進んで、ロードレースを学習発表の場として捉えて、保護者の方に参観も兼ねて走路員として協力していただいている学校もありました。最後までしっかりと走りきる子どもたちの姿は地域の大人には力を与え、これから入学する園児にはあこがれの存在になっていました。

(奥出雲町立八川小学校)

### 家庭や地域と連携し運動の日常化を図る



夏休み前の PTA 保健体育部の活動の 1 コマです。各家庭で、親子でできそうな運動を考えて持ち寄ります。お互いに紹介し合って良いものを親子の運動遊びとしてまとめていきます。筋力、バランス、柔軟性、素早さなどの観点でまとめられていました。更に、運動の良さや注意点について、専門家からアドバイスを受けているところも素晴らしい点でした。(雲南市立寺領小学校) また、校内の学校保健委員会で、運動を取り上げて親子で運動を体験して運動を広げる取り組みもありました。(出雲市立窪田小学校)



### 昇降口周りの環境整備がカギ 1



休み時間になると、子どもたちは元気よく校庭へ飛び出していきます。必ず通過するのは、昇降口です。運動用具がすぐ手にとれる環境を作ることが、子どもたちを運動に向かわせます。低学年に配慮したボールかごを工夫しました。（松江市立本庄小学校）

### 昇降口周りの環境整備がカギ 2



昇降口のポーチに配置された一輪車と竹馬です。体育倉庫の奥にしまい込んでしまわれると、子どもたちは取ることができません。このようにしてあると手にとって、遊び出す子どもが出てくるのではないのでしょうか。（松江市立本庄小学校）

### 昇降口周りの環境整備がカギ 3



体育用具の整頓が悪く、再三注意したといった経験は多くの方が経験されたことと思います。ボールの置き場所をボールに書かれた数字と置き場所の数字のマッチングですっきりと収納されていました。視覚的な支援が効果的でした。

（出雲市立遙基小学校）

### 校舎内の仕掛け 1



オープンスペースに鉄棒などを置いておられる学校もありました。低中学年は、これだけで喜んで鉄棒に取り組んでくれそうです。技や遊び方を伝えることによって、更に意欲を増すようです。積雪の多い地域では、冬季に移動用鉄棒などの配置で運動量を増やすよう工夫されていました。

（出雲市立大社小学校）



## 校舎内の仕掛け 2



特に新しくものを設置するだけでなく、今あるものを少し見直して体力向上に役立てる視点も大切です。階段を一段とばしやつま先だけで登らせるなども有効な運動です。

(松江市立中央小学校)

## 雲梯の仕掛け



雲梯は、鉄棒運動の基本を身に付けさせてくれます（手首の返しや、体の振動など）。是非とも取り組んで欲しい運動です。雲梯の欄に数字を貼り付けておくと、子どもたちの挑戦意欲を高めてくれます。学習カード付きの遊具になります。

(浜田市立石見小学校)

## 校庭の樹木を利用して



校庭の大きな樹木に、太いロープがつるしてありました。子どもたちはロープにぶら下がって、遊んでいました。ちょっとした工夫で、子どもたちに運動遊びの場を提供することができます。真夏でしたが、木陰にもなり子どもたちは集まっていました。

(出雲市立出東小学校)

## 先生が一番の環境



鉄棒で、多くの子どもたちが遊んでいます。ブームの火付け役は先生方です。先生がコウモリ跳びを見せられたことがきっかけだったそうです。子どもたちの「見て、見て！」の声を大切にして、誉めたり励ましたりの積み重ねの結果だそうです。

(浜田市立今福小学校)